

Webサイトにおける動画コンテンツの重要性について

WHY VIDEO IS
VITAL ON WEBSITES

世界中で毎日1億人がオンライン動画を閲覧し、ネットユーザー全体の80%以上がオンライン動画を視た経験があると言われています。

企業や商品を紹介しているサイトにも、動画コンテンツの活用が増え、今後、動画コンテンツはWebサイトにおけるトレンドになることは間違いないでしょう。

では、今なぜ動画が注目されているのか、その理由を探ってみました。

なぜ動画が注目されているのか？

理由 1

静止画 + Text に比べ情報量が多いため

訴求力が高い

1分間の動画が伝える情報量は
180万語

ウェブページなら

3,600ページに匹敵

言葉では伝わりづらい商品やサービスの魅力を理解してもらうのにはとても有効。

理由 2

スマートフォンやタブレットの普及と
回線速度の向上により、
ユーザーが動画に費やす時間が増加



2021年、
動画のトラフィックは
インターネットサービス全体で
83%になる見込み

視聴回数が上がると共に動画の品質が向上、より良い動画を手軽に見れることにより、動画に触れる機会が益々増えていくことが予想されます。

出典：https://www.cisco.com/c/ja_jp/solutions/collateral/service-provider/visual-networking-index-vni/complete-white-paper-c11-481360.html

理由 3

YouTubeなど

無料動画配信サービスを利用することで
低コストでの運用・管理が可能になった。



You Tubeのユーザー数は

毎月19億人以上

視聴数・シェア数の管理も可能

運用・管理をしていくことで、動画コンテンツが資産になると考えられます。

出典：<https://www.youtube.com/intl/ja/yt/about/press/>

<https://support.google.com/youtube/answer/2991785?hl=ja>

理由 4

動画広告の市場が年々増加している



2018年の動画広告市場は

前年対比 約134%の**1,843億円**

2024年には

4,957億円を突破する予測

YouTubeなどのインストリーム広告は
そのうち約7割を占める

雑誌・ラジオ広告は前年比97%と縮小傾向にある中、
動画広告は、テレビCMとの併用、スマートフォンで視
聴可能なSNS上のオンライン動画プロモーションなどに
活用され注目が集まっております。

出典：<https://www.cyberagent.co.jp/news/press/detail/id=11208&season=2015&category=ad>

以上の理由により動画の注目度が上がったことにより、動画の活用がビジネス上での効果にもつながっている。

具体的にどのような効果があるのか？

- ▶ 動画を利用するとプロダクトへの理解が**74%**高まり、商品の購入率が**64%**増加する
- ▶ LPに1つ以上の動画を加えることで、コンバージョン率が**80%**上昇した
- ▶ ユーザーの**90%**がプロダクトに関する動画があると意思決定がしやすいと回答
- ▶ 経営層の**75%**は、毎週仕事に関連したビジネス動画を見ている
その中の**65%**は、ビデオを見た後に関連するウェブサイトを訪問する
- ▶ インターネットユーザーの**80%**が、30日以内に閲覧したWEBサイトの動画広告を思い出すそのうち**46%**が動画広告を見てなんらかのアクションを起こしている

出典：<http://dazeinfo.com/2014/01/07/online-video-increases-consumers-understanding-brand-product-74-infographic/>
<http://unbounce.com/landing-page-articles/the-benefits-of-using-video-on-landing-pages/>
<http://www.videobrewery.com/blog/18-video-marketing-statistics>

動画コンテンツはB2Cだけじゃなく B2Bでの活用も注目されている

動画コンテンツはコンシューマー向けのコンテンツと思われ勝ちであるが、B2B市場においても重要なコンテンツとして捉えられている。

- ・ 商品、サービスのプロモーション、デモ動画
- ・ 導入事例動画
- ・ ウェビナー（セミナーや説明会をオンラインで配信）

動画はハードルが高いものではありません

動画を作るのは大変。どうしていいかわからない。と思われる方も多いでしょう。Webサイト上の一つのコンテンツであることは変わりません。情報を伝達する手段と考えればいままで使ってきたテキストや画像の延長にあるものです。

まずは見てもらうこと、効果はその先にあります。

10代の若者を中心にカジュアルな動画がネット上には増えてきています。Webサイト上だからこそ、予算をかけた立派な動画じゃなくても、ユーザーのニーズにあった動画であれば見てもらえます。何を伝えたいのか、何を求められているのかを考え、まずは見てもらえる動画コンテンツを目指し導入を考えてみてはいかがでしょうか。